

兵庫県立西宮病院 消化器病センターの開設について

県立西宮病院では、食道、胃、大腸などの消化器疾患に関して、内科、外科の垣根をはずし、迅速な診断・治療を行い、患者や地域医療機関の信頼に応えるため、平成26年1月から、消化器病センターを開設します。

- ・内視鏡センター、CT/MRI、血管造影室などがそろった本院の本館3Fフロアーに内科医と外科医を集結させた消化器病センター外来を設置します。
- ・病棟も従来の消化器内科病棟（10F）と外科病棟（7F）を統合し、消化器病センター病棟として再編します。これにより、内科医と外科医が同じ病棟で消化器疾患を治療し、専門分野の強みが発揮される看護体制となります。

1 開設日 平成26年1月1日（水）

2 消化器病センターのシステムと特色

- (1) 消化器病センター外来を毎日（平日）開設していますので、患者が来院した日に内視鏡検査やCT検査等を行い、その日の内に診断と治療方針を決定することができます。
- (2) 方針決定後、通院による内科治療が始まり、また、外科手術が必要な場合は、「術前センター」で手術日とそれまでに必要な検査日程を綿密に組んでいきます。

このようにスムーズな診断と治療の流れが消化器病センターの特色といえます。

3 消化器病センターの診療内容

消化管（食道、胃、十二指腸、大腸、肛門）、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓、腹膜（ヘルニアを含む）などの消化器疾患の診断と治療。



(外科手術の様子)



(内視鏡検査の様子)